製品型番

取扱説明書

DS-TV70I300BK/SV
（ブラック）　（シルバー）

テレビを観る前に、必ずオートサーチを行ってください

本製品をはじめてお使いになる場合はオートサーチ（チャンネル読み込み）が必要です。
オートサーチを行うことではじめて放送を受信することができます。　（→P14 参照）

地上デジタル放送 ～ワンセグ～ の受信状況について

現在、全国の主要な地域で地上波デジタル放送が開始されていますが、地域状況により放送エリア内であっても以下のようなときは、放送を受信できない場合があります。

～受信障害の主な原因～
①お住まいの地域の周辺に高層ビル等があり放送局からの電波を遮断している
②住宅密集地域や集合住宅、もしくは地下室等で電波状況が芳しくない
③高圧送電線による電波障害の影響がでている
④中継局の設置などのインフラ整備が整っていない　（→P21～参照）

内蔵バッテリー

本製品は内蔵バッテリーを搭載しています。長時間コンセントやシガーソケットにつないだままにしておくとバッテリーへの過度な電源供給が行なわれ、大変危険です。未使用時や充電完了後は電源の接続を解除してください。
その他、本書の内容に従い用法を守って正しくお使いください。　（→P12～参照）

目次

はじめに

お買い上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用にあたり取扱説明書と保証書をよくお読みください。また、必要なときにお読みいただけるよう大切に保管してください。

セット内容

以下が揃っているかをご確認ください。不足がありましたら弊社までお問い合わせください。また、予告無くパッケージ内容が変更されることもあります。ご了承ください。

●テレビ本体	●アンテナ２種（据置型・フィルム型）	●リモコン
●AC アダプタ	●車載用 DC アダプタ（12V 車専用）	● AV ケーブル
●取扱説明書／保証書		

使用上の注意

● AC アダプタがコンセントの電圧と合っているかをご確認ください（AC100–240V)。
●クリーニング時はシンナーやアルコール等の有機溶剤は使用しないでください。
●長期間使用しない場合は電源アダプタ取り外してください。
●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。本体の変形や故障の原因となります。静電気やほこりが多い、風呂場等の水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で触れないでください。ショートや感電の原因となります。
●本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。また、上記原因で不具合が生じた場合は弊社での保証と修理をお断りいたします。
●落としたり、踏んだりしないでください。また、衝撃や加重を与えたり、上に重たいものを載せたりしないでください。
●異臭がする、煙が出る、異常な音がする等の症状が見られたら、電源コンセントから抜いて速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
●日本国内の地上デジタル放送ワンセグを受信するための機器です。海外ではご使用になれません。国内でも地上デジタル放送を開始していない地域では受信できません。
●小さなお子様が使用する場合には、電気製品の取り扱いを理解した大人の監視と指導のもとで行なってください。
●コネクタに異物を挿入しないでください。ショート、感電、発火の恐れがあります。本書の説明と明らかに異なる操作や目的で使用した場合、故障や損傷または身体に及ぶ障害の原因となります。この場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●液晶画面は高度な技術で製造されていますが、稀に常時点灯もしくは消灯したままの

ドットが存在します。これらは故障ではありませんので、ご了承ください。

車載でのご使用について

●車載専用機ではありません。真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは、故障や事故の原因となり非常に危険ですのでおやめください。
●自動車のエンジン始動時はシガーソケットからの電源供給が不安定です。車載で使用する場合はDCアダプタを差し込んだままエンジンを始動すると無理な負荷がかかり、故障の原因となります。機器接続はエンジンがかかった状態で行なってください。
●運転に支障が出ない位置に設置してください。また、運転中の視聴や操作は危険ですのでおやめください。
●付属DCアダプタの仕様は12V・2Aです。使用前にお車の電源仕様を確認してください。接続する機器や車種によっては稀にノイズが発生する場合があります。異なる電圧（24Vなど）のシガーソケットに差し込んで使用すると発熱、発火、故障の原因となります。　※24V車では使用しないでください。
●オートサーチした地域から移動すると、それまでご覧になっていたチャンネルを受信できなくなります。地域を変更した場合、再度オートサーチをやり直してください。
●建物の陰やトンネル内は電波状況が悪く、テレビが映らなくなることがあります。その場合は受信状態が良くなるよう設置場所やアンテナの向き等を見直してください。

内蔵バッテリー

●充電は電池残量が無くなってから行ってください。また、使用中に本体が異常に熱を持ったり異臭や発煙、膨張した時は直ちに使用を中断し、弊社サポートセンターまでご連絡ください。尚上記のような症状が見られたら、以降絶対に使用しないでください。
●電源コンセントにつないだままだと過度な充電がされ、故障や事故を引き起こす恐れがあります。また、バッテリーの消耗を早めます。バッテリーは消耗品です。使用を重ねることで再生可能な時間は徐々に短くなる傾向にあります。
●車のシガーソケットからは充電しないでください。自動車電源は電源供給が不安定なためバッテリーに負担をかけます。バッテリーの電池残量が多い時は、シガーソケットに繋がないでください。
●バッテリーを含む本製品の廃棄は、お住まいの自治体で定められている方法で正しく行ってください。

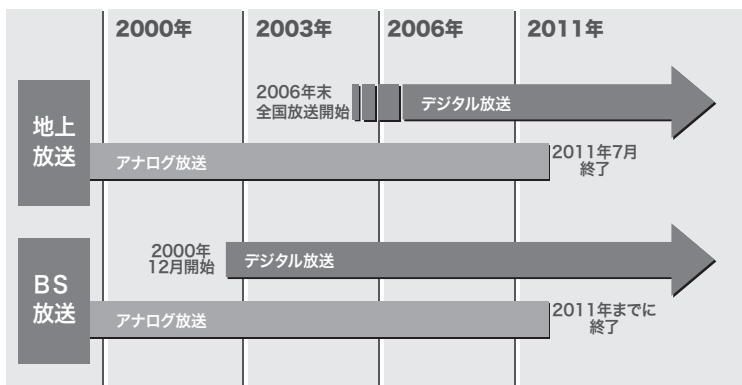
予めご了承いただきたいこと

1. 本書の内容、本製品の仕様・外観等については、将来予告なしに変更する事があります。
2. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたら、弊社のカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

3. 本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断でのご使用はできません。
4. 万一、本機使用により生じた損害、取扱説明書記載以外の使用方法による故障、損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても弊社ではその責任を負えません。
5. 接続機器との組み合わせによる誤作動等から生じた故障や損傷に関しましては当社では一切の責任を負えません。
6. 地震や雷等の自然災害、火災、第三者からの行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の明らかに異常な条件下での使用によって生じた故障や損傷等の損害に関しましては当社では一切の責任を負えません。
7. 故障、修理、その他の理由に起因する損害および、逸失利益につきまして、当社では一切の責任を負えません。
8. 保証書への購入日・購入店の記載のないもの、保証書に記載された内容に相違のある場合等、 当社では一切の責任を負えません。
9. 一般家庭内での使用を目的として製造されております。業務用（店頭ディスプレイ・営業宣伝活動等）や個人でも過度に長時間連続で使用した場合は保証の対象外となります。また、日本国外での使用に関する保証、およびサポート対応はできません。

デジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大都市圏の一部で 2003 年 12 月から開始され、2006 年 12 月には全国都道府県庁所在地で放送が開始されました。該当地域における受信可能エリアは当初限定されていますが、順次拡大しています。

地上アナログ放送は 2011 年 7 月に、BS アナログ放送は 2011 年までに終了することが、国の方針として決定されています。

ワンセグについて

「ワンセグ」とは、日本において主に携帯電話等の移動体端末や、携帯機器を受信対象とする地上デジタル放送です。従来の地上アナログ放送と比較して、移動中でも安定して受信できる工夫がなされています。2006 年 12 月に全国都道府県で放送を開始し、現在ではほぼ全ての放送局で開始されています。

「ワンセグ」は、地上デジタル放送の 6 メガヘルツの帯域を 13 セグメントに分けて送信する日本独自の放送方法によって実現したサービスで、13 のセグメントの真ん中の 1 セグメントを使用して映像、音声、データが得られます。

ワンセグの番組サービスは､基本的に通常のテレビ受信機向けの番組と同じ内容です。そのため、普段ご家庭で見慣れた番組を外出先で楽しむことが可能です。

※チャンネル番号はアナログ放送とは異なります。
時間帯によってはワンセグ独自の放送が行なわれます。

ワンセグ視聴中に起こる、以下のような症状は故障ではありません

■ワンセグ放送を含む地上デジタル放送は、実際の時刻とのタイムラグが発生します

正確な時刻どおりに番組が始まらないなどの状態は、放送の特性上のものであり機器の故障ではありません（数秒の遅れが発生します）。

■車など移動時での視聴では、電波状況が刻々と変化しています

電波が弱い場所に入ると、急に音声が途切れ途切れになったり、画面が乱れたり、画像が静止したり、まったく映らなくなったりすることがあります。アンテナの位置を調整したり、電波状態の良い場所に戻ることで平常に視聴することができます。

※地上デジタル放送は、受信ができない地域や電波が弱い地域では、画面が全く映らない状態になったり音声が途切れたりする状態になります。アナログ放送のように､｢乱れた画像だが " かろうじて " 視聴できる」というような状態にはなりません。

※お車での使用時、接続する機器や車種によっては、稀にノイズが発生する場合があります。

■車など移動時での視聴では、放送エリアが変わる場合があります

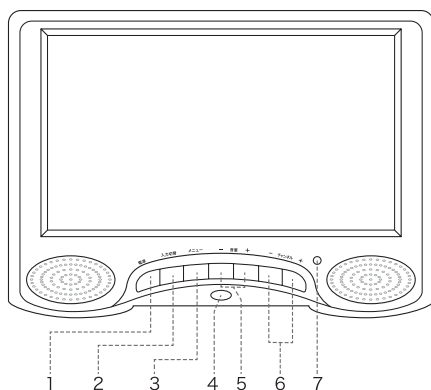
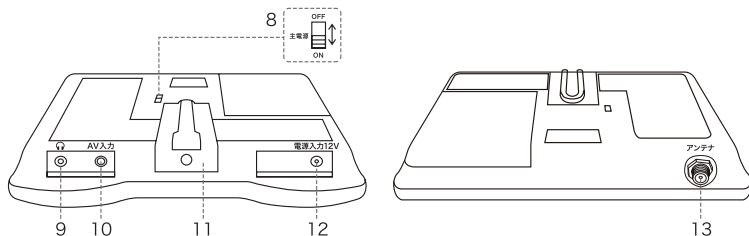
地上デジタル放送の電波は､地域によってチャンネル割り当てが異なります。その為、放送エリアが変わると急に視聴ができなくなることがあります。

（例　車で移動中に県をまたいでしばらくしたら、今まで視聴できていたチャンネルが急に映らなくなった等…。）

放送エリアが変わった場合は、再度チャンネルのオートサーチを行ってください。

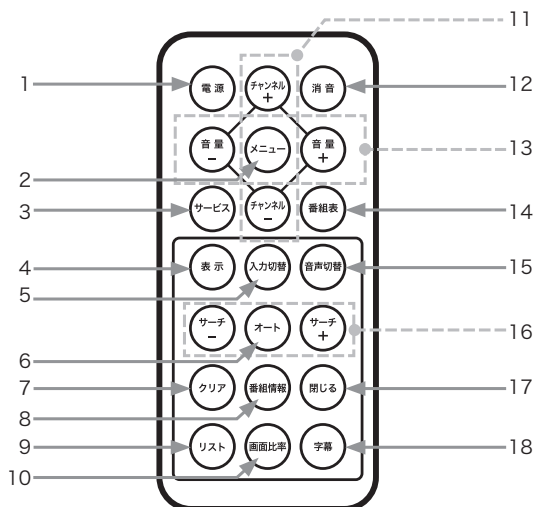
1 テレビ・リモコンの各部機能

テレビ本体／各部名称と機能

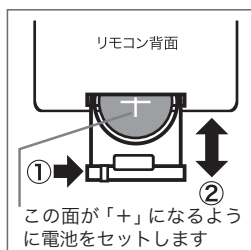
〈前面〉

〈背面〉

〈各部機能の紹介〉

No.	名称	機能
1	電源ボタン	電源のオン／オフを切り替えます
2	入力切替ボタン	TV ／ AV 入力を切り替えます
3	メニューボタン	メニュー画面を開きます
4	リモコン受光部	リモコン操作はここに向けて行ないます。また、充電時のサインとして赤いランプが点灯します。
5	音量ボタン	音量を調節します
6	チャンネルボタン	チャンネルを切り替えます
7	電源ランプ	電源の ON/OFF を表示します
8	主電源スイッチ	こちらが OFF になっていると本体・リモコンの全ての操作を受け付けません。 ご使用時はスイッチを ON にしてください。
9	イヤホン出力	イヤホンを接続します
10	AV 入力	DVD プレーヤーなどの外部機器を接続します
11	スタンド差し込み口	付属のスタンドを溝に沿って接続します
12	電源入力	電源アダプタを接続します
13	アンテナ入力（F 型）	アンテナを接続します

ここでは各部の名称、および簡単に機能の紹介をしました。具体的な使用法、詳細については各接続、および使用方法の紹介ページをご覧ください。

リモコン／各部名称と機能

機能紹介

No.	名称	機能
1	電源	電源のオン／オフを切り替えます。テレビ本体の電源スイッチが ON になっている時に有効です
2	メニュー	メニュー画面を表示します。
3	サービス	本製品では使用しません。
4	表示	現在のチャンネルの情報、電波状態を表示します。
5	入力切替	テレビ／ AV（外部）入力の本体機能を切り替えます。
6	オート	チャンネルのオートサーチ（チャンネル読み込み）を行ないます。
7	クリア	読み込んだチャンネルを消去します。再度番組を観るためにはオートサーチをやり直す必要があります。
8	番組情報	番組情報を表示します。
9	リスト	現在視聴可能なチャンネルの一覧を表示します。
10	画面比率	画面の比率を切り替えます。
11	チャンネル＋／–	チャンネルを切り替えます。
12	消音	音声を一時的に消します。もう一度押すと、元の音量に戻ります。
13	音量＋／–	音量を調節します。
14	番組表	現在視聴しているチャンネルの番組表を表示します。
15	音声切替	音声を切り替えます
16	サーチ＋／–	現在視聴しているチャンネルから＋：昇順／–：降順方向に、受信可能なチャンネルを探します。
17	閉じる	番組表、チャンネル一覧、チャンネル情報、番組情報などの画面を閉じます。
18	字幕	字幕を切り替えます。

リモコン用電池のセット／交換

①リモコンを裏面にし、リモコンの底部左側にある爪を右に押します。
②爪を押したまま、底部中央の切り込みをつまんで手前に引き出します。電池のトレイが引き出されます。
③電池を交換します。セットするボタン電池は " ＋ " と書かれている面が表です。裏表を間違えないようにしてください。電池のトレイをリモコンに差し込んで戻します。

※リモコンの電池は、ボタン型リチウム電池（CR2025）です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用になる分は別途ご用意ください。
※初めてリモコンを使用する場合は電池トレイの底面に透明なプラスチックの絶縁フィルムが挟み込まれていますので、それを引き出してから使用してください。
※長期間使用しない場合はリモコンの電池を取り出して保管してください。

2 アンテナ・電源その他の接続

本章ではアンテナや、各種電源供給に関する接続、本製品と外部機器（DVD プレーヤーなど）の接続を紹介します。

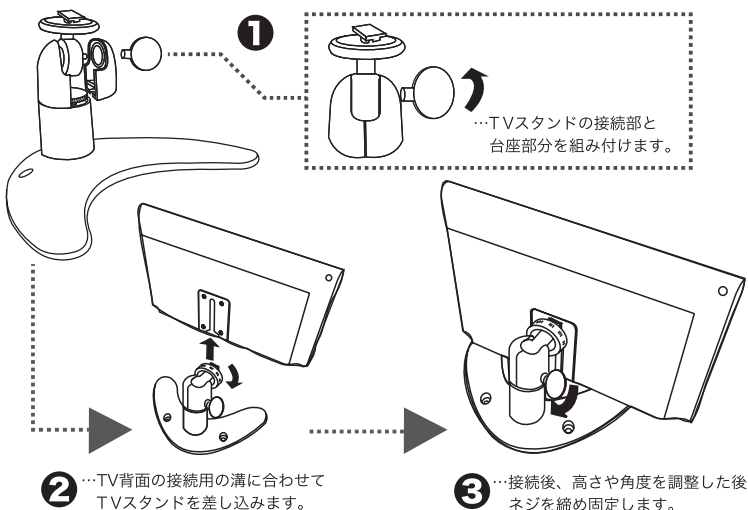
特にお車からの電源供給に関しては使用方法を誤ると、故障や事故につながり大変危険です。注意事項を守り、正しくお使いください。

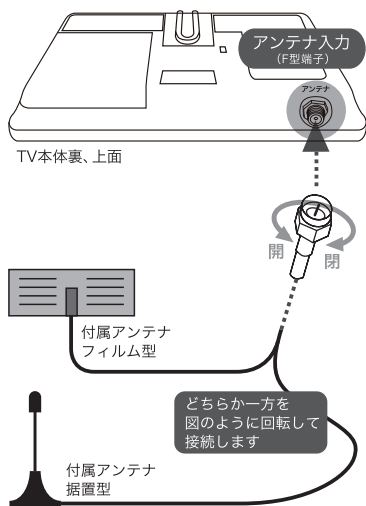
※ワンセグテレビ放送の受信には、本章の各種接続を終えた後、次章で紹介する「オートサーチ：チャンネル読み込み」の操作をする必要があります。
オートサーチを行わないと、ワンセグテレビ放送を受信することはできません。

専用テレビスタンドの設置

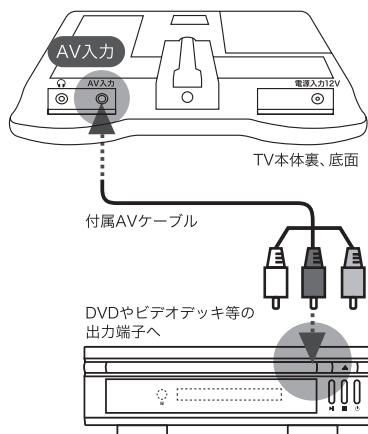
本製品には視聴時に便利な、専用テレビスタンドが付属します。次の❶〜❸の手順で組み立ててください。

❷…TV背面の接続用の溝に合わせてＴＶスタンドを差し込みます。

❸…接続後、高さや角度を調整した後ネジを締め固定します。

※固定用の締め付けネジはプラスチック製です。きつく締めすぎると破損してしまいます。

①アンテナとの接続

付属のフィルム型、もしくは据置型アンテナのどちらかをテレビ本体のアンテナ入力に接続します。接続部の先端はネジ式です。左図を参考に回転して固定してください。

※据置型アンテナは窓際の平らな場所に設置してください。フィルム型アンテナはリアまたはリアサイドウィンドウ専用です。フロントウィンドウに取り付けた場合、車検・安全基準を満たしませんのでご注意ください。リアウインドウへの貼り付けの際は、熱線等を避けるようにしてください。また、同じ場所でも位置や向きにより受信状況が異なります（フィルム型アンテナは指向性が特に顕著に現れます）。次章で紹介するオートサーチ後に受信状況が悪い場合は、設置場所やアンテナ角度を調整した後、再度オートサーチを行ってください。

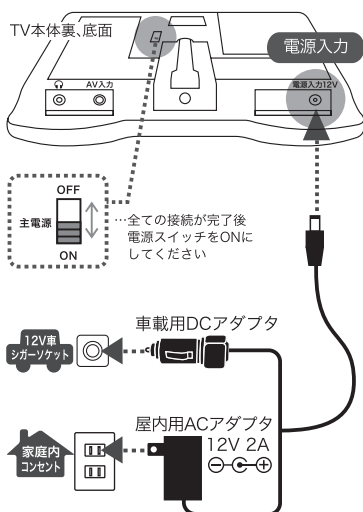
※本テレビのアンテナ端子は F 型コネクタです。デジタル放送に対応した UHF アンテナをお持ちの場合は接続してご使用頂くことでより安定した受信が望めます。
※ダイバシティアンテナを直接接続することはできません。

②外部機器の接続

DVD プレーヤー等を接続し、本製品をモニタとしてお使い頂く場合の接続です。

テレビ放送の受信だけにお使いの場合は接続の必要はありません。

付属の AV ケーブルを使って、テレビ本体底面の AV 入力と DVD 等の外部機器の AV 出力とを接続します。

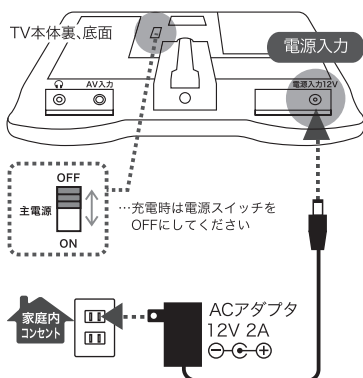
接続後、入力切替ボタンを押して本体機能を AV 入力モードに切り替えてください。

③ AC・DC アダプタによる電源供給

テレビ本体底面の電源入力に、付属の AC（もしくは DC）アダプタを接続し、壁のコンセント(車載時は 12V 車のシガーソケット）に差し込みます。

全ての接続が完了したら、背面の電源スイッチを ON にしてください。

【注意】：
未使用時や長時間使用しない時は、主電源スイッチを OFF にし、テレビ本体から電源アダプタを取り外してください。
長い間つないだままにしておくと過剰な充電が行なわれ、内蔵バッテリーに負担をかけますのでご注意ください。

【車載使用時の注意】：付属の DC アダプタは 12V 車専用です。24V 車ではお使いになれません。エンジン始動時はシガーソケットからの電源供給が不安定です。DC アダプタを差し込んだままエンジンを始動するとテレビ本体に負担がかかり、故障の原因となります。各接続はエンジンがかかった状態で行なってください。

④内蔵バッテリーの充電

充電時は背面の電源スイッチを OFF にしてください。

テレビ本体底面の電源入力に付属の AC アダプタを接続し、壁のコンセントに差し込みます。

本体正面のリモコン受光部に赤いランプが点灯し、充電が開始されます。ランプが消灯すると充電完了です。

充電完了後、テレビ本体から電源アダプタを取り外してください。

充電所要時間：約 210 分
連続使用時間：約 150 分

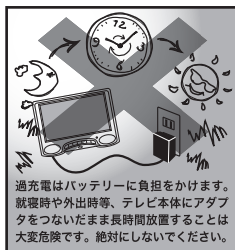
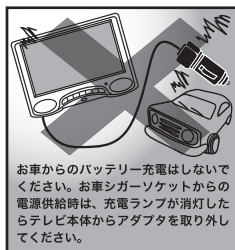
内蔵バッテリーの取扱上の注意

電源の接続・内蔵バッテリーは用法を誤ると大変危険です。ここでご紹介する使用法と注意を充分にご理解頂き、正しくお使いください。

●テレビ本体や内蔵バッテリーの分解・改造は絶対に行わないでください。
●充電中の赤いランプが消灯し､充電が完了したら電源アダプタは取り外してください。
●充電はバッテリー残量が少なくなった後に行ってください。
●過度な充電を行うと故障や､事故を引き起こす恐れがあります。また､内蔵バッテリーの寿命を縮めます。
●保管に際しては AC アダプタをテレビ本体から取り外し、常温で湿気の少ない場所に置いてください。「直射日光の当たる場所・炎天下の車内・火やストーブの近く等高温になる場所・湿度の高い場所」での使用・放置をしないでください。
●充電中にテレビ本体や内蔵バッテリーが異常に熱を持ったり、異臭や煙などを発した場合は直ちに使用を中止し、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
（弊社問い合わせ先は本書の巻末、及び保証書をご覧ください）

バッテリー駆動の視聴中は、アダプタをテレビ本体から外してください。長時間つないだままにしておくと、過度な充電が行なわれてバッテリーに負担をかけます。

お車からのバッテリー充電はしないでください。お車シガーソケットからの電源供給時は、充電ランプが消灯したらテレビ本体からアダプタを取り外してください。

過充電はバッテリーに負担をかけます。就寝時や外出時等、テレビ本体にアダプタをつないだまま長時間放置することは大変危険です。絶対にしないでください。

3 チャンネル読み込み テレビ視聴

オートサーチは、本製品を初めて使用する前に必ず行う操作です。
オートサーチを行わないと、テレビ放送を受信することはできません。
また、移動により放送エリアが変わったときにも必ずオートサーチを行ってください。

テレビを使用する前に…オートサーチ

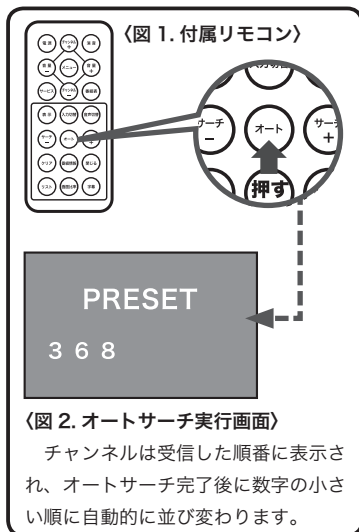
2 章に記載のアンテナ、電源の接続を終えてから以下の手順で行ってください。

テレビ本体のボタン、またはリモコンを使って操作が可能です。リモコンを使用する場合は事前に電池をセットし、テレビ本体の受光部にしっかりと向けて操作を行ってください。

手順

〈図 1. 付属リモコン〉

〈図 2. オートサーチ実行画面〉

チャンネルは受信した順番に表示され、オートサーチ完了後に数字の小さい順に自動的に並び変わります。

❶本体背面の主電源スイッチを ON にした後、電源ボタンを押して電源を入れます。
❷入力切替ボタンを押し、テレビモードが選択されているのを確認してください。
❸リモコンのオートボタンを押します（図 1）。画面に PRESET と表示され、オートサーチが実行されます。終了までしばらくお待ちください（図 2）。
❹オートサーチ後、チャンネルを切り替えて受信内容を確認してください。

※視聴可能なチャンネルは、オートサーチで登録されたチャンネルに限られます。希望のチャンネルが登録できない場合は、視聴地域での受信放送局を確認後、アンテナ設置場所や向きを調整して再度オートサーチをしてください。

■テレビ視聴時の各種操作

①電源

電源ボタンを押すと電源のオン・オフが切り替わります。電源が入らない場合は本体背面の電源スイッチを確認してください。

②チャンネル切替

チャンネルボタンを押して切り替えます。アナログ放送とはチャンネル番号が異なります。

※アナログ放送に比べてチャンネル切り替えには多少時間がかかります。

③音量調節

音量ボタンを押すと音量が調節されます。

④消音

消音ボタンを押すと消音状態になり、再度ボタンを押すと消音が解除されます。

⑤音声切替

音声多重放送の番組を視聴中に音声切替ボタンを押すと主／副音声が切り替わります。

⑥表示

表示ボタンを押すと現在の受信情報を画面に表示します。放送局が登録されていない時は表示されません。

⑦クリア

オートサーチで登録されたチャンネルを削除します。再びテレビ放送をご覧になる場合は、オートサーチを行ってください。

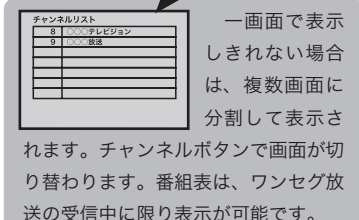
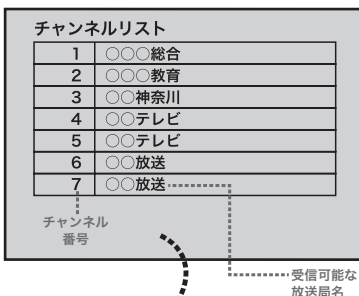
⑧サーチ（＋／－）

現在受信中のチャンネルの周波数よりも大きい（小さい）数値に向かって受信可能なチャンネルを探します。オートサーチで登録されていないチャンネルも対象とします。

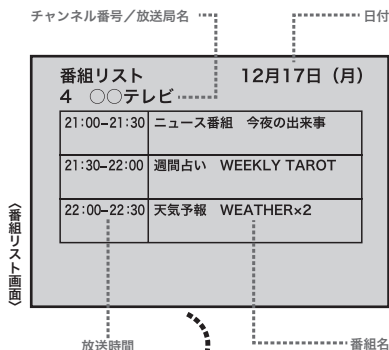
⑨チャンネルリスト

現在視聴可能なチャンネルの一覧を表示します。リストボタンを押すと表示され、閉じるボタンを押すと消えます。

〈チャンネルリスト画面〉

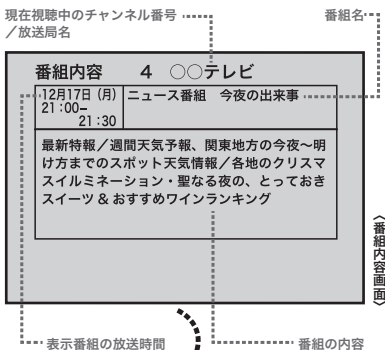
一画面で表示しきれない場合は、複数画面に分割して表示されます。チャンネルボタンで画面が切り替わります。番組表は、ワンセグ放送の受信中に限り表示が可能です。

⑩番組表（簡易EPG）

番組の一覧を表示させることができます。現在の時刻近辺の番組を表示します。

番組表ボタンを押すと表示され、閉じるボタンを押すと消えます。

表示番組数は放送局によって異なり、多数ある場合は複数画面に分割して表示されます。チャンネルボタンで画面が切り替わます。番組表は、ワンセグ放送の受信中に限り表示が可能です。

⑪番組情報

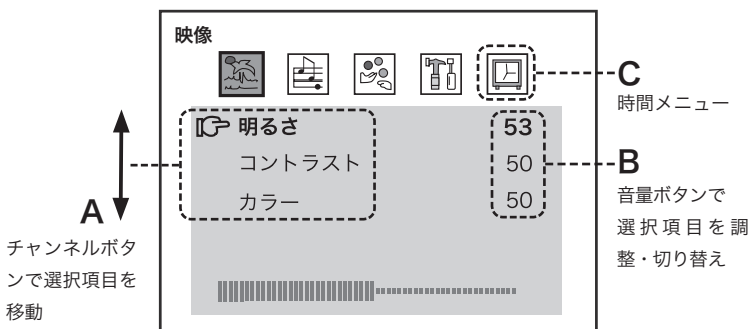
現在視聴している番組の情報を表示させます。

番組情報ボタンを押すと表示され、閉じるボタンを押すと消えます。

表示番組数は放送局によって異なります。

表示される番組情報が多数ある場合は、複数画面に分割して表示されます。チャンネルボタンで画面が切り替わります。番組情報は、ワンセグ放送の受信中に限り表示が可能です。

4 メニュー画面での各種設定

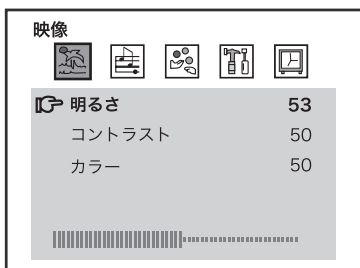
メニュー画面での主な操作方法

付属のリモコン、または本体のメニューボタンを押すと、本体の設定ができるメニュー画面が開きます。メニューボタンを押すたびに、映像→音量→設定→システム→時間の順にメニュー画面が切替ります。

メニュー画面に表示されている項目のうち、指のマークが先頭にあり、赤い文字で表示されているものは現在選択中の項目です。

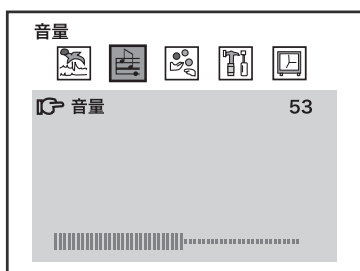
- 「チャンネル –／＋」ボタンを押すと、選択項目が上下に移動します（上図 A)。
- 「音量 –／＋」ボタンを押すと、選択されている項目の設定を変更できます（上図 B)。
- 「時間」メニューを開いているときにメニューボタンを押す、または一定時間操作がなかった場合、メニュー画面が閉じられます（上図 C)。

①映像

リモコンまたは本体のメニューボタンを１回押すと、映像メニューが開きます。

映像メニューでは表示映像の明るさ、コントラスト、カラーの調節が行なえます。

②音量

リモコンまたは本体のメニューボタンを２回押すと、音量メニューが開きます。

音量ボタンを使用し、音量を調節できます。０のときは音声が出ません。

③設定

リモコンまたは本体のメニューボタンを３回押すと、設定メニューが開きます。

●左右／上下反転

表示映像の左右／上下を反転します。

●ズーム

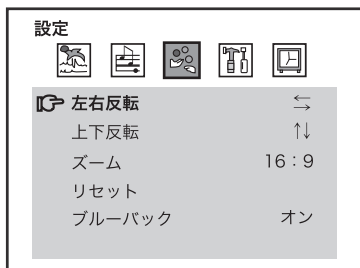
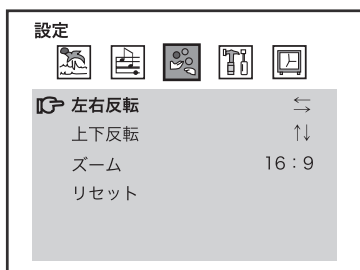
映像の縦横比率を変更します。

●リセット

メニュー画面内の設定を出荷時の状態に戻します。

[AV メニュー時のみ表示される項目]：

●ブルーバック

テレビ放送を受信していない時の背景色を青もしくは黒から選択します。

〈TVモードの設定メニュー画面〉

〈AVモードの設定メニュー画面〉

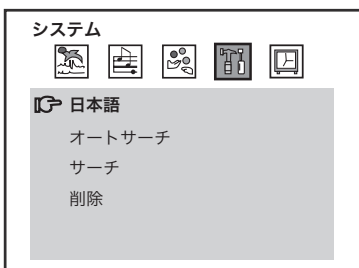
④システム

リモコン、または本体のメニューボタンを４回押すと、システムメニューが開きます。

システム設定内の項目は、テレビ視聴時と外部 AV 入力時とでは表示される内容が異なります。右図 A・B をご確認ください。

●言語

メニュー画面で表示される言語を変更します。選択できる言語は日本語／ENGLISH です。

※本説明書では「日本語」を選択した場合について説明します。

〈A：TV モードのメニュー画面〉

● TV システム

TV 方式を切り替えることができます。接続する外部機器にあわせて NTSC、PAL、SECAM、AUTO から選択してください。

※日本国内で製造されている製品のほとんどは NTSC 方式が採用されています。通常は NTSC または AUTO を選択してください。

※ AV モードの時だけ表示されます。テレビ視聴時は選択できません。

〈B：AV モード時のメニュー画面〉

●オートサーチ

現在受信可能な全てのチャンネルを探します。オートサーチを選択後に音量ボタンを押すとオートサーチが実行されます。チャンネルは受信した順番に表示され、サーチ完了後に数字の小さい順に自動的に並び変わります。

※リモコンのオートボタンを押しても同様に機能します。

※この操作は外部入力（AV）モードでは選択できません。

〈オートサーチ実行画面〉

●サーチ

現在選局中のチャンネルに隣接した受信可能なチャンネルを探します。サーチを選択し、音量–または音量＋ボタンでサーチを実行します。

〈サーチ実行画面〉

SEARCH UP

音量＋ボタンでプラス方向、音量–ボタンでマイナス方向のチャンネルを探します。

※リモコンのサーチボタンを押しても、同様に機能します。
※この操作は、外部入力（AV）モードでは選択できません。

●削除

オートサーチで見つけたチャンネルを全て削除します。削除を選択後、音量ボタンを押すと実行されます。

TV を受信するときは、再度オートサーチを実行してください。

※この操作は、外部入力（AV）モードでは選択できません。

⑤時間

リモコンまたは本体のメニューボタンを５回押すと、時間メニューが開きます。

●スリープ

設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。

スリープを選択後、音量ボタンで時間を設定します。0（解除）～ 240（分）まで設定できます。

＊ここでの時間はあくまで目安であり、正確な時間ではありません。

5 故障かな？ と思ったら

本製品が正常に動作しない場合は、こちらのトラブルシューティングをお読みください。不具合の原因と、その解決方法を確認することができます。

P02 ～ 05 記載の注意書き、及び本章をお読みになっても問題が解決されない場合は、保証書の内容をご確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

起動しない

●電源ランプが点灯しているかを確認してください。点灯していなければ配線や本体背面の電源スイッチを確認してください。

●車載でご使用の場合は、お車の電源仕様をご確認ください。用法を誤るとショートや故障、事故等の原因となります。DC12V2A 以外の電源を使用すると、故障や事故の原因となります。24V 車（例. 輸入・大型車等）では使用できません。

●バッテリー駆動の場合は電池残量が不足していることが考えられます。本書の充電に関するページをご確認ください。

画面全体が灰色になる

●映像メニュー「カラー」の値が 0 になっていませんか？

● AV 入力の場合はテレビ方式の設定が外部接続機器と一致していない可能性があります。システムメニューの「TV システム」で外部機器のテレビ方式に合ったもの、または「AUTO」を選択してください。

※日本国内では NTSC が採用されています。

映像は出るが音声が出ない

●イヤホンを接続していませんか？

●音量が 0 になっているか、消音ボタンが押されていませんか？

音声や映像が途切れる

●建物の陰や山間等で電波の受信状況が悪いことが考えられます。このような場合は場所移動、及びアンテナの位置や向きを調節してください。

●バッテリー駆動の場合は電池残量が不足していることが考えられます。本書の充電に関するページをご確認ください。

音声も映像も出ない

●電源が入っているかを確認してください。

●オートサーチは行われていますか？

●視聴中のチャンネルで放送が行われていることを確認してください。

●電波の受信状況が悪いことが考えられます。アンテナを窓際の受信しやすい場所に置いてください。

番組を受信できない

●ご使用地域でワンセグ放送が開始されているかをご確認ください。
●アンテナの位置が受信しやすい場所に設置されているかをご確認ください。
●オートサーチは完了しましたか？　また、オートサーチを行った地域から移動した場合、チャンネル編成が地域により異なるため、再度オートサーチが必要です。

ワンセグ放送受信に関する補足

現在全国の主要地域でデジタル放送が開始されていますが、地域状況により放送エリア内でも受信が困難な場合があります。受信障害の原因として次のことが考えられます。

【周辺に高層ビルや山等がある／住宅密集地域や集合住宅／高圧送電線による電波障害の影響／電波中継局の設置等のインフラ整備が整っていない】

また、各機器に搭載されているチューナーの受信能力には差があります。特に携帯電話は屋外での不安定な電波状況での使用を前提としているため、設計・受信方式が根本的に違います。携帯電話でワンセグ放送が受信ができても、同じ状況下で他のワンセグ機器でも同様に受信できるとは限りません。

＜ワンセグ放送受信エリアに関する、インターネット上の参考 URL ＞
●社団法人デジタル放送推進協会～放送エリアの目安
http://vip.mapion.co.jp/custom/DPA_B/
●総務省　地上デジタル放送中継局ロードマップ
http://www.soumu.go.jp/joho_tsusin/dtv/zenkoku/roadmap1.html

希望のチャンネルに合わせられない

●オートサーチの方法は正しいですか？
オートサーチを行った際に、希望のチャンネルを受信できなかった可能性があります。受信感度の良い場所にアンテナを移動し、再度オートサーチを行ってください。受信感度が悪い場合は、希望のチャンネルを受信できない場合があります。

チャンネルの切り替えが遅い

●ワンセグデジタル放送は、電波を通じて受け取ったデジタル信号を、音声や映像に展開するため、若干時間がかかります。
●受信感度が悪い場合は、更に時間がかかります。本体およびアンテナを受信感度の良い位置に移動してください。

チャンネルと番組が一致しない

●視聴地域が変わったら、再度オートサーチを行ってください。

リモコン操作が効かない

●リモコンと本体との間に障害物はありませんか？
●リモコンが本体に向けられていますか？また、操作角度や距離が大きすぎていませんか？
●リモコンの電池は正しく装着されていますか？　リモコンの電池が切れていることが考えられます。使用する電池はボタン型リチウム電池 CR2025 です。
●製品付属の電池は動作確認用となりますので、長く使用できません。通常ご使用になる分は別途ご用意ください。
●バッテリー駆動の場合は電池残量が不足していることが考えられます。本書の充電に関するページをご確認ください。

上下左右に反転して表示される

●メニュー項目の設定→上下反転、または左右反転が「オン」になっていませんか？上下反転、左右反転を選択して音量ボタンを押して向きを正してください。

スリープ設定した時間に電源が切れない

●スリープ時間はあくまで目安です。

補足：内蔵バッテリー

●製品仕様として記載してあるバッテリー駆動時の使用時間は、あくまでも目安です。実際の使用状況（使用年数や操作頻度、周辺温度や環境等）によって駆動時間に差があります。
また、バッテリーは消耗品です。使用を重ねる毎に劣化し、使用可能な時間は徐々に短くなります。

ボタン操作が効かない

●起動時、チャンネルの切り替え直後、電波状態の悪い場所での視聴中は本体で重い処理を行っているため、反応に時間がかかることがあります。
この状態で繰り返しボタン操作を行なうと、後で全ての操作が反映され、思わぬ動作を起こすことがあります。少し様子を見て反応がないことが確認されたら、再び同じボタンを押してください。

補足：ワンセグ独自の放送内容

●時間帯により、ワンセグ独自の放送が行なわれている場合があります。この時、アナログ放送や地上デジタル放送用の番組はご覧になれません。

補足：テレビアンテナ

●本製品には 2 種類のアンテナを同梱していますが、いずれもワンセグの特性を活かすための携帯性を重視した設計がされています。また、フィルム型を使用している場合は特に指向性が顕著に現れ、自動車の向きによって受信状態が変化します。フィルム型アンテナはリアまたはリアサイドウィンドウ専用です。フロントウィンドウに取り付けた場合、車検・安全基準を満たしませんのでご注意ください。リアウインドウへの貼り付けの際は、熱線等を避けるようにしてください。
本製品のテレビ本体アンテナ端子は F 型形状です。もしもご自宅にデジタル放送に対応した UHF アンテナがある場合はそちらに接続することで、より安定した視聴が望めます（この場合、別途 F 型端子のアンテナケーブルが必要です）。

製品仕様／お問い合わせ先

製品名	7インチ液晶ワンセグテレビ
製品型番	DS-TV70I300 BK / SV
本体カラー	BK：ブラック、SV：シルバー
本体サイズ	194 ×145 ×39 mm（横幅 × 高さ × 奥行） （スタンド取付時の高さ：168 ～ 190（可動式）× 奥行：102 mm）
本体重量	420g（スタンド取付時／ 540g）
電源	DC 12V（DC IN 端子）
AC アダプタ	電源：100–240V　50/60Hz ／皮相電力：20–50VA DC 出力：12V　2A
消費電力	10W ／待機時は 6W （区分名：BX、年間消費電力量：59kWh/ 年）
内蔵バッテリー	電圧：7.4V ／容量：950mAh 充電時間：約 210 分、駆動時間：約 150 分
液晶パネル	7 インチ（16：9）／水平 800× 垂直 480 ／ 1,677 万色
画面輝度／コントラスト比	200cd/m2 ／ 400：1
視野角	上下 50°～ 60°／左右 70°～ 70°
応答速度	35ms
チューナー	ISDB-T 1Segment ／ UHF 13 ～ 62ch （アナログ放送の受信はできません）
オーディオ出力	1W
入出力端子	AV 入力（付属ケーブルはテレビ接続側のみ専用端子形状） アンテナ入力（F 型）／イヤホン出力（3.5 φ）
動作環境	5 ～ 35℃
製造国	中国

※製品の外観や仕様は改良のため、予告無く変更する場合があります。

製造元

株式会社 ゾックス

〒 231–0033　神奈川県横浜市中区長者町 3–8–13　TK 関内プラザ 304

TEL：0120–602–302

ホームページ　http://www.zox-net.com

お電話でのお問い合わせは：月～金 10 時～ 17 時

※土・日曜日、祝祭日はお休みを頂いております。

MADE IN CHINA